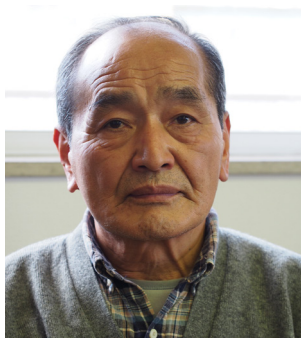


**ボランティアを続ける秘訣！  
それは損得無しで動ける喜びを感じ  
社会貢献している実感を楽しむこと。**



**がんこおやじの会  
山田さん**



山田さんが  
所属されている団体

40年前に長久手に移住され、地域の人と密着したい、関わりたいとの思いで、約3年前、中日ホームニュースの麻雀懇親会の記事を見て、興味を持ち入会され、がんこおやじの会へも誘いを受け、現在に至るまで活動を続けていらっしやいます。

**【テーマ・キーワード】**  
地域交流、たつせ 居場所

団 体 名	がんこおやじの会		
代 表 者	古田さん (山田さんではありません)	会 員 数	16名
主 な 活 動 場 所	西小校区共生ステーション他、市内集会所、学校 幼稚園、老人ホーム、など		
主 な 活 動 内 容	防災イベント、子供会、校区運動会、などの設営 福祉施設の行事ボランティア、麻雀懇親会、定例会 もちつき隊、一人暮らし支援、マラソン大会、市民祭り		
連 絡 先	古田さんの携帯：090-4862-1736		

現在、がんこおやじの会員人数は  
昨年より、3人増加。  
シルバー人材センターで働いてみえる  
古田さんより紹介されたりと、人づてに  
会への参加者は増えています。  
もちつきは杵と臼を持参でお手伝い。  
冬場特にお呼びがかかります。  
おやじだけでなく、女性も募集中です！



## 麻雀懇親会

第1、3日曜日、12時～16時、老人憩いの家（打越）にて年間通し活動中。参加者24～25名のために、5卓ほど準備。飲まない、賭けない、吸わない、をモットーにクリーンな遊びを心がけ楽しんでもらっています。



茶菓子、麻雀道具の準備をしつつ、参加者の方の楽しんでいる様子をみているのが幸せ。

**Q. どのような時にやりがいを感じますか？**

地域のことに活動することで知り合いも増え、休みの日はつぶれてしまうがそれ以上に会の皆さんが、ワイワイ楽しくされている様子が何よりもうれしい。



会のみなさんを見てると、自分も参加したくなりウズウズします（笑）

**Q. ご自身も麻雀に参加したくなりませんか？**

先着順で参加者さんは4人一組になり麻雀を始めますが、たまに人数が不足した場合一緒に打つときもあります。（ラッキー！）



会のみなさんにもっと楽しんでいただけるイベント計画中！

**Q. 今後の取り組みをお聞かせ下さい。**

熱心に腕を磨かれている会のみなさんが、またさらに大きな場所でふだんの練習の腕をお披露目できる麻雀大会を企画しています。



困った事？ないですねえ・・・

**Q. 男性だけで困ったことはありませんか？**



## 同じ趣味の人と知り合える。

Q. 活動の依頼先では、どのような反響や影響がありますか？

🍀 月に2度、必ず来ます。

昔、職場の仲間や付き合いで常日頃麻雀をやっていました。又このようにやって来た事を生かせる事ができ、とても嬉しいです。

🍀 ここに来れば、誰でも相手をしてくれる。

🍀 麻雀をやるにはちょうど良い人数。

🍀 いつも同じメンバーではなく、先着順でメンバーが決まるので色々な人と話ができ、コミュニケーションがとれる。

🍀 ボケ防止の為には最高です。



🍀 市外の方もいます。

🍀 もっと出来る場所が増えるといいんだけど。



参加者さんの声をお聞きしました！



🍀 毎日でもやりたい。

🍀 ここに来ると仲間がいる。





み つ け た、幸 せ の か け ら！

## 地域のひとの縁の下の力もち的存在である。

地域のひとたちが楽しく活動できるための場所づくりをしている。  
そしてその場所づくりの場が居場所になり、人の役に立てるという思いが  
生き甲斐、やりがいとなっている。

## 特別なスキルや経験がなくても、誰にでも できることで人とかがわり、人の役に 立つことができる。

地域のひととボランティアを通して自然に関わり、  
ふれあえる事がありがたいことである。



### 編 集 後 記

私たち B チームは遅れを取りましたが、最終的にすばらしいことを発見しました。年配の方となると、なかなか用事がないと家に居がちになりますが、このような活動があれば外に出るきっかけとなり、ボランティアをされている方も麻雀参加者の方も年齢を感じさせない程いきいきとされていて魅力的でした。ボランティアさんは手間と自分の大切な時間がかかっているにもかかわらず、それを苦とも思わず優しいお顔で見守られている姿がとても印象的でした。なぜそのような感じでいられるのか？それはボランティアさんのゆったりとした気持ちをお持ちの人柄＝心の余裕＝『幸せ』に繋がると感じました。いい歳のとりかたをされている山田さんのお人柄が参加者の笑顔と充実感を生み出しているのではないのでしょうか・・・うらやましい限りです。

取材データ

・日時：平成 28 年 2 月 21 日（日） ・場所：老人茜憩の家  
・担当：B チーム

